

7 『別海の沿岸景観を楽しもう』ルート

1. 別海町内（バスターミナル）

16.5km 20分

2. 床丹（とこたん）

4.7km 6分

3. 春別橋 6

1.3km 2分

4. 白鳥台【別海十景】

4.3km 5分

5. 尾岱沼（おだいとう）～野付湾

【別海十景】22

尾岱沼というのは、地名です。

24.5km 29分

（ネイチャーセンターまで）

6. 野付半島～ナラワラ・トドワラ

【別海十景】24

2.5km 3分

7. 野付半島～原生花園【別海十景】

18.8km 23分

8. 標津町内（標津町役場前）

別海 標津

別海十景の沿岸部を中心としたコースです。国後島の鳥影をのぞみながらのドライブは、ここならではのダイナミックな景観だよ。

白鳥台/道の駅おだいとう・別海北方展望塔

白鳥台と呼ばれる春別川河口の高台は、野付湾を一望できるビューポイント。晴れた日には野付半島や北方領土の国後島も見え、12月～3月には飛来する白鳥の優美な姿が観察できる。1階道の駅では別海牛乳を使用したソフトクリームや乳製品等の特産品を販売。食堂では野付湾を眺めながら「別海ジャンボホタテバーガー」他地元食材グルメが食べられる。2階は北方領土資料展示室になっており返還署名を受付、3階は展望塔。館外には北方領土返還を期して寄贈された「叫びの像」があります。



（尾岱沼の北海シマエビ漁）

尾岱沼～野付湾

ここは、「野付半島と打瀬舟」として北海道遺産にも指定されている。オホーツク海に突き出た野付半島が作り出す野付湾。毎年夏と秋の2回にわたって行われる打瀬舟による北海シマエビ漁は、野付湾の代表的な風物詩。せっかく野付湾に来たからには打瀬舟の光景は必見！（漁期と時間が決まっているので注意！6・7・10月の午前中）

野付半島～原生花園

半島の東端、野付埼灯台を中心とした竜神崎一带に広がる花園。5月下旬から10月頃までカラフルな花たちが顔をみせる。エゾカンゾウやセンダイハギ、ハマナス、クロユリ、ハマフウロ、ウラギク、アッケシソウなどの花の饗宴が繰り広げられ、可憐な花たちに思わずうっとり。



（野付半島原生花園）

野付半島

オホーツク海の潮の流れによって造られた日本最大の「砂嘴（さし）」¹⁾。その大部分は、砂丘草原と湿地帯でエビが体をくねらせたような恰好で突き出している半島なのだ。この一帯には、トドワラ、ナラワラ、フラワーロード、原生花園と見どころがいっぱい。ここは別海十景のなかでもひとときおやすめゾーン。



（野付半島）